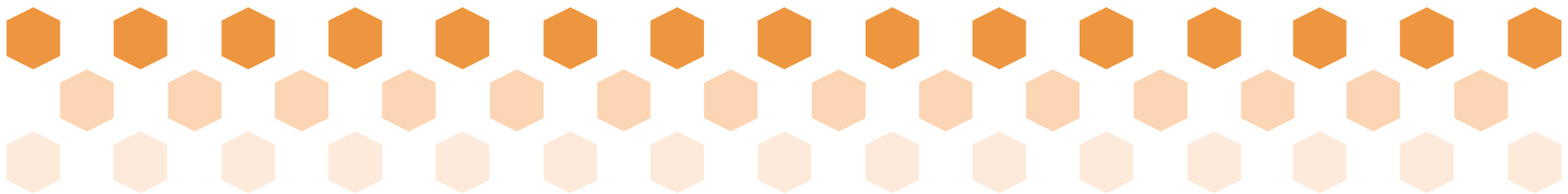


コード、情報伝達の現状と標準化 の方向性について



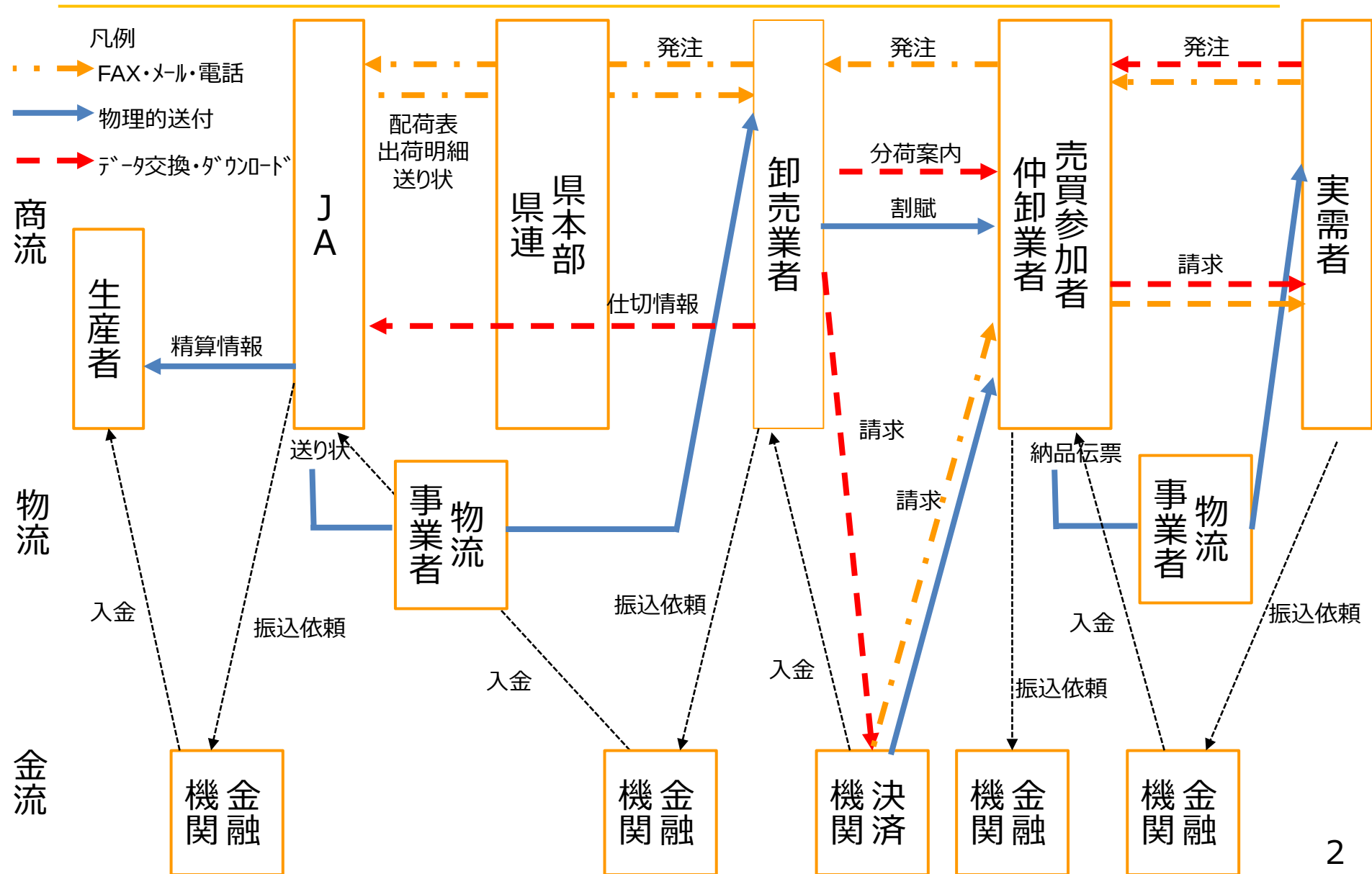
令和4年2月4日
農林水産省 大臣官房
新事業・食品産業部 食品流通課

目次

1. 青果物流通全体の情報の流れ	 2
2. 産地側の情報の流れ	 5
3. 産地側と卸売市場との間の情報の流れ	 7
4. 卸売市場内の情報の流れ	15
5. コード・情報分科会において検討すべき事項	30

1. 青果物流通全体の情報の流れ

1-1 全体の俯瞰図



1. 青果物流通全体の情報の流れ

1 - 2. 青果物流通で使用されているコード

青果物標準品名コード (ベジフルコード)

(5桁)

3×××× : 野菜のコード体系
4×××× : 果実のコード体系
5×××× : 青果加工品のコード体系

青果物の標準商品コード

(13桁)

4 9 2 2 + 標準品名コード (5桁) + P (1桁) + V S (2桁) + C/D
(日本・生鮮フラグ) (青果物標準品名コード) (栽培方法区分) (商品形態・階級) (チェックデジット)

(P : 栽培方法区分)

0 : 指定なし 1 : 有機農産物 2 : 特別栽培農産物 3 : 無袋 (サン)
4 : ハウスまたは温室 (加温、無加温) 5 : マルチ 6 : 輸入
7 ~ 9 : 共通販売規格等コードエリア

(V : 商品形態)

大根の例 0 : 原体 (ハーフ) 1 : 原体 (レギュラー) 2 : 1/2本 3 : 1/3本 等

(S : 階級)

大根の例 2 : S 3 : M 4 : L 5 : 2 L 等

(参考) GS 1 事業者コード

GS 1 事業者コード

(9桁、10桁又は7桁)

4 5 ×××××××× または 4 9 ××××××××

GTIN (JANコード (商品識別コード))

(13桁)

GS 1 事業者コード + 商品アイテムコード (3桁、2桁又は5桁) + C/D (1桁)

GLN

GS 1 事業者コード + ロケーションコード

2. 産地側の情報の流れ

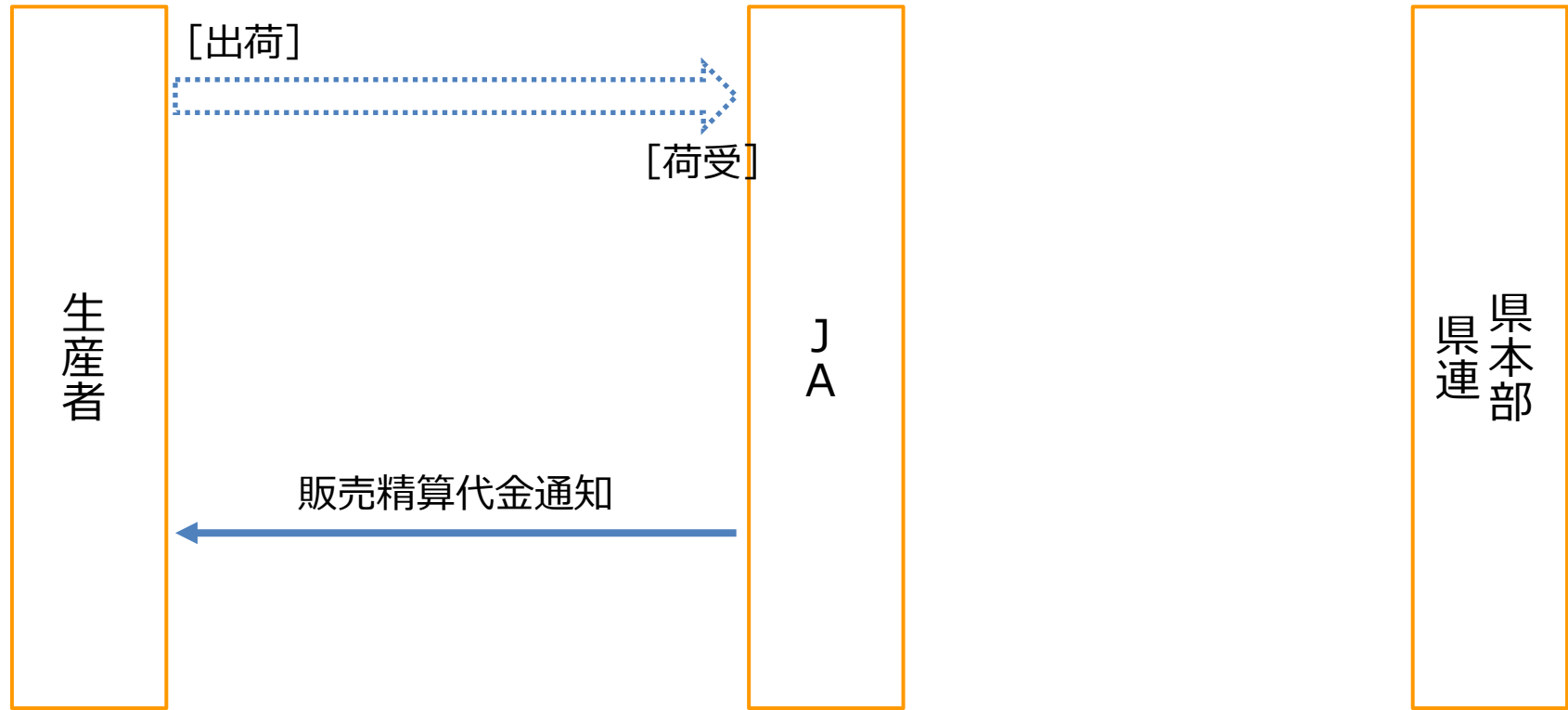
2-1. 生産者－JA－県本部・県連間の情報

凡例

---> FAX・メール・電話

→ 物理的送付

-> データ交換・ダウンロード



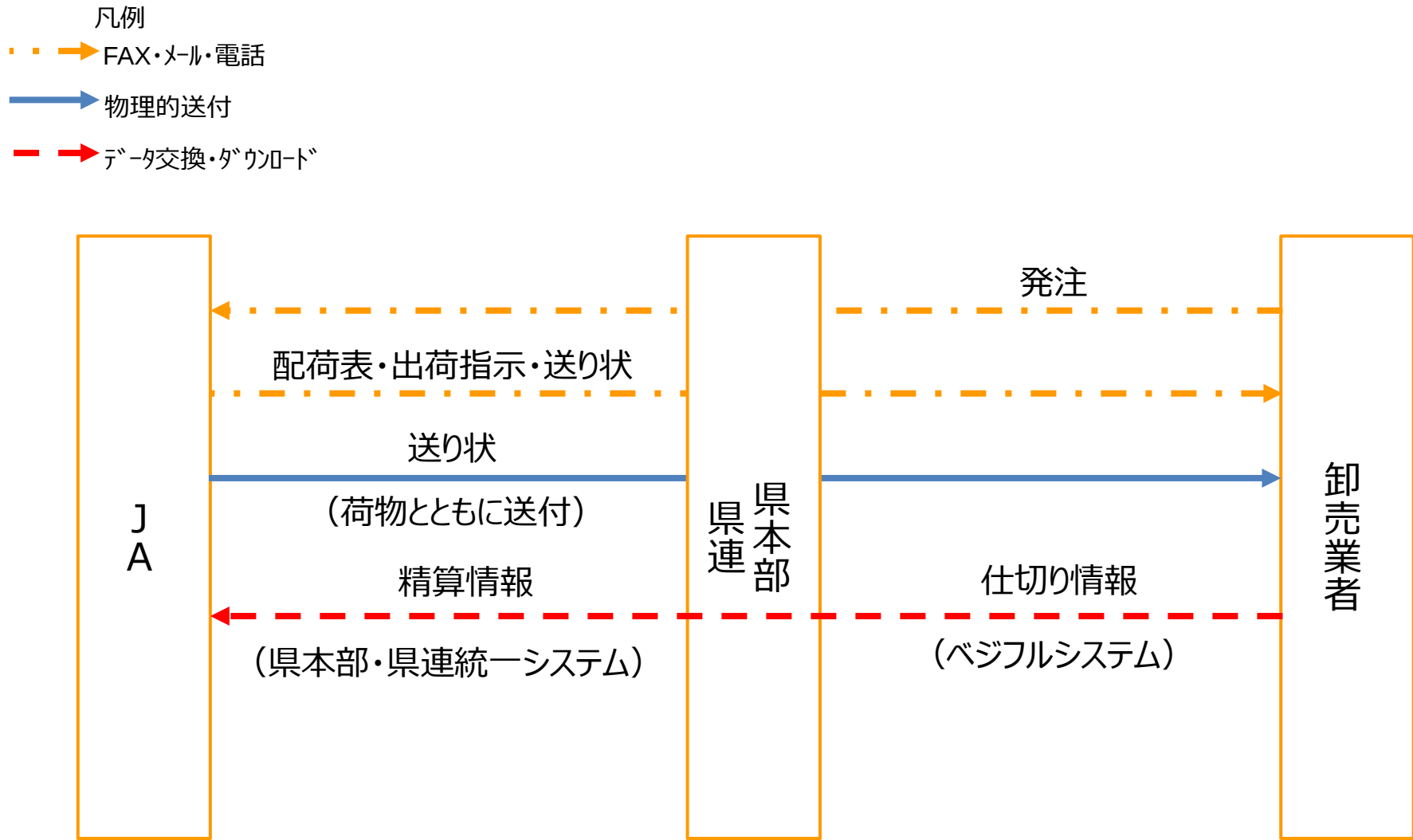
(参考) 生産者との情報伝達ツール



出典；日本事務器(株)提供資料

3. 産地側と卸売市場との間の情報の流れ

3-1. JA-県本部・県連-卸売業者間の情報



3 - 3. 送り状の実例 (シャインマスカット)

C産地

D産地

出荷通知書

送り状No.

売立仕切には、送り状No.を確実に入力して
いただきますよう、お願いいたします。

②

品名

④、⑤

荷姿・容量

⑧、⑨

出荷日

①

販売予定日

⑩

取扱場所

⑦

⑥

御中

③

等階級	数量	等階級	数量	等階級	数量
-----	----	-----	----	-----	----

⑬

⑭

起票者
日時

共計/個選 00030050-0008

送り状(出荷報告書件販売委託発注書)(市場控え)

②

①

③ 御中

下記の通り出荷しましたからご査収ください。

総数	⑭	運送店名	⑮	備考
----	---	------	---	----

品名

⑤

荷姿

⑧

量目

⑨

等級

合計

概要

※販売委託手数料等その他送り状に記載がない事項については販売委託者である〇〇と販売受託者である上記市場名欄記載の貴社との最新の売買基本契約書による

◎注意 現品と送り状と相違の際は即時ご通知ください。

捺印 担当者印

3 - 4 . 送り状の記載項目と使用コード比較

○記載項目の比較 ※記載されている場合「○」

○使用コードについて

	項目	トマト		シャインマスカット	
		A産地	B産地	C産地	D産地
①	出荷年月日	○	○	○	○
②	送り状No	○	○	○	○
③	卸売業者名	○	○	○	○
④	品名コード	○	○	○	—
⑤	品名	○	○	○	○
⑥	出荷者コード	○	○	○	○
⑦	出荷者名	○	○	○	○
⑧	荷姿	○	○	○	○
⑨	量目	○	○	○	○
⑩	供計地区	○	—	—	—
⑪	供個区分	○	—	—	—
⑫	等階級コード	○	—	—	—
⑬	等階級	○	○	○	○
⑭	数量	○	○	○	○
⑮	出荷者の社内整理コード	—	○	—	—
⑯	販売予定日	—	—	○	—
⑰	県連コード	—	—	—	—
⑱	取扱運送店	—	—	—	○

④ 品名コード

青果物標準品名コード（ベジフルコード）

⑥ 出荷者名・コード

J Aの事業所コード

⑫ 等階級コード

J Aが独自に設定したコード

⑮ 出荷者の社内整理コード

J Aが独自に設定したコード

3 - 5. 売買仕切書の実例

X卸売業者

売買仕切書									
		系統 団体 農協 コード						② 頁数	
								仕切書No. ⑤	
								売立日 ⑥	
原票No. ①		④ 殿							
出荷者コード ③									
		原産地 ⑦		発月日 ⑧		出報送り状No. ⑨			
品名 コード	荷印	品名(種)	荷姿	量目 kg	等階級	数量	単価	金額	
⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	
						数量計		金額計	
		税抜き金額 (A)		消費税額(B)				(A)+(B)	
				8%相当額		10%相当額			
金額計(8%対象)									
金額計(10%対象)									
控 除 金 額	委託手数料								
差引仕切金額									

Y 卸売業者

(原簿)

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

⑪

⑫

⑬

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

㊲

㊳

㊴

㊵

㊶

㊷

㊸

㊹

㊺

㊻

㊼

㊽

㊾

㊿

1

3 - 6 . 売買仕切書の記載項目と使用コード比較

○記載項目の比較 ※記載されている場合「○」

	項目	X卸売業者	Y卸売業者	ベジフルネットで 送信されるデータ
①	原票No	○	—	—
②	出荷者コード	○	○	○
③	荷主コード	○	○	—
④	出荷者名	○	○	○
⑤	仕切書No	○	○	○
⑥	売立日	○	○	○
⑦	原産地	○	—	—
⑧	出荷日	○	○	○
⑨	送り状No	○	○	○
⑩	品名コード	○	○	○
⑪	荷印	○	○	○
⑫	品名	○	○	○
⑬	荷姿	○	○	○
⑭	量目	○	○	○
⑮	等階級	○	○	○
⑯	数量	○	○	○
⑰	単価	○	○	○
⑱	金額	○	○	○
⑲	整理コード	—	○	—

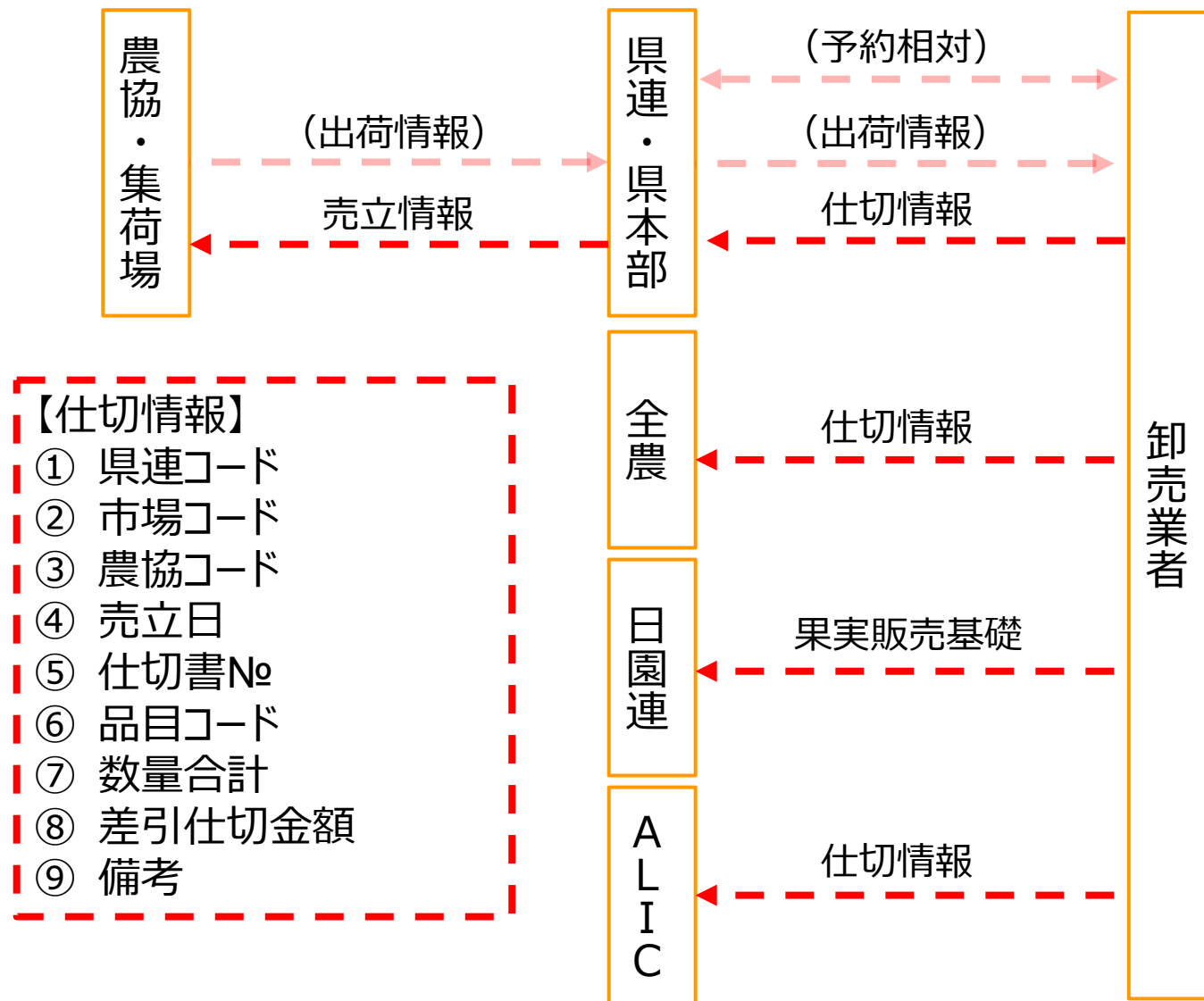
○使用コードについて

② 出荷者コード
J Aの事業所コード
③ 荷主コード
卸売業者が社内用に整理している出荷者のコード
⑩ 品名コード
青果物標準品名コード（ベジフルコード）
⑲ 整理コード
卸売業者が上記②の付加情報として整理したコード

(参考) 産地側と卸売市場との情報伝達ツール

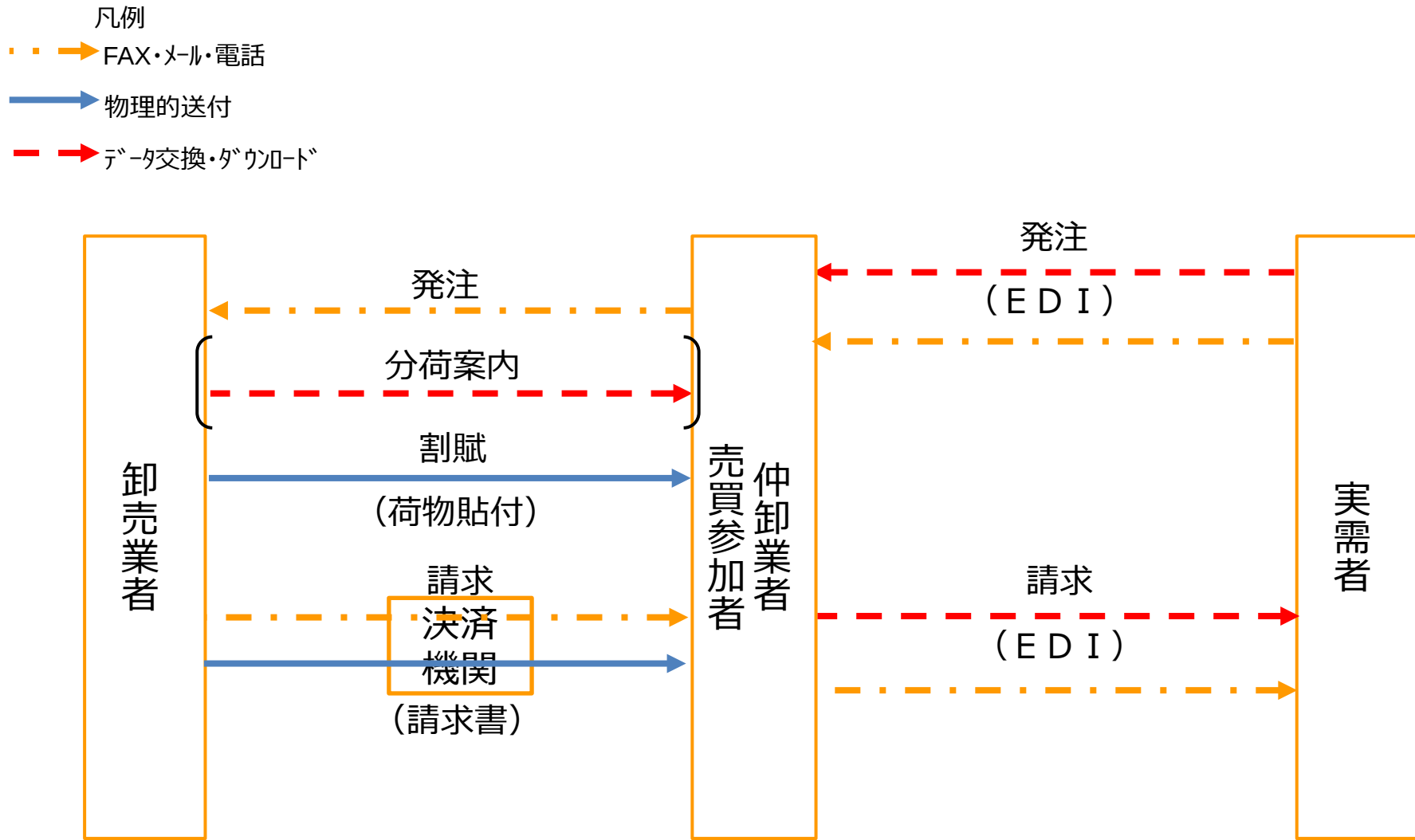


(参考) ベジフルネット



4. 卸売市場内の情報の流れ

4-1. 卸売業者－買受人－実需者の情報



4 - 2. 割賦の実例

X 卸売業者

売買担当		原票No	
荷主		原産地	
個印			
品名	②	数量	③ kg
等階級	④	数量	⑤
相対取引物品			
 102200068210012175500001			
買受人	⑥		
取引年月日	引取数	残数	受領印
		置場 ⑦	

Y 卸売業者

引 渡 票	
年 月 日	
品名	委託者
②	①
	荷姿
数量	③
⑤	
受 渡 先	
⑥	

○記載項目の比較

	① 荷主	② 品名	③ 荷姿	④ 等階級	⑤ 数量	⑥ 買受人	⑦ 置場
X卸売業者	○	○	○	○	○	○	○
Y卸売業者	○	○	○	—	○	○	—

4 - 3. 販売原票の実例

X卸売業者

[illegible]

Y 卸売業者

[illegible]

4 - 4 . 販売原票の記載項目と使用コード比較

○記載項目の比較

	項目	X卸売業者	Y卸売業者
①	原票No	○	○
②	売区分	○	○
③	置場	○	○
④	出荷者	○	○
⑤	荷印	○	○
⑥	品名	○	○
⑦	原産地	○	—
⑧	出荷年月日	○	○
⑨	送り状No	○	○
⑩	委託・買付	○	○
⑪	選別 (共選・個選)	○	○
⑫	売番	○	○
⑬	個印	○	○
⑭	品名品番	○	○
⑮	荷姿	○	○
⑯	量目	○	○
⑰	等級	○	○
⑱	階級	○	○
⑲	合わせ・バラ/ 梱包	○	—
⑳	単価	○	○

	項目	X卸売業者	Y卸売業者
㉑	買受人	○	○
㉒	買受人数量	○	○
㉓	系統団体	—	○
㉔	荷主コード	—	○
㉕	産地指定 コード	—	○
㉖	原産地 コード	—	○
㉗	品名コード	—	○
㉘	農林品名 コード	—	○
㉙	送り状数量	—	○
㉚	荷受数量	—	○

○使用コードについて

㉔荷主コード	卸売業者が社内用に整理している出荷者のコード
㉕産地指定コード	J A の事業所コード
㉖原産地コード	卸売業者が社内用に整理しているコード
㉗品名コード	卸売業者が社内用に整理しているコード
㉘農林品名コード	青果物標準品名コード（ベジフルコード）

4 - 5. 請求書の実例

X 卸売業者

お買上代金請求書												
① 殿												
コード	置場	産地	お買上品					記事		摘要	週番	申立 区分
せり人	売番	荷印	コード品名(種)	等階級	数量	単価	金額	売日	事由			
		② ③	④ ⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
			売金額				消費税		請求金額			
			野菜	果実	関連商品	合計			合計			

1. 不買 2. 二重請求 3. 欠番 4. 返品
5. 数違い 6. 単価違い 7. いたみ
8. 現品なし 9. その他

取引期限
買受人番号

Y 卸売業者

売掛金請求書									
請求書No. ⑪		① 殿		販売日		⑩			
No.	品名	荷印	量目	等階級	数量	単価	金額	参考	
								税込金額	参考
	④	③		⑥	⑦	⑧	⑨		
お支払い日		区分	件数	%対象金額	消費税 %	ご請求金額			

4－6．請求書の記載項目と使用コード比較

○記載項目の比較

	項目	X卸売業者	Y卸売業者
①	出荷者	○	○
②	産地	○	－
③	荷印	○	○
④	品名	○	○
⑤	品名コード	○	－
⑥	等階級	○	○
⑦	数量	○	○
⑧	単価	○	○
⑨	金額	○	○
⑩	売日	○	○
⑪	請求書No	－	○

○使用コードについて

⑤ 品名コード

仲卸業者が指定する品名コードであり、ベジフルコード(5桁)に1桁を加えて6桁になっている。

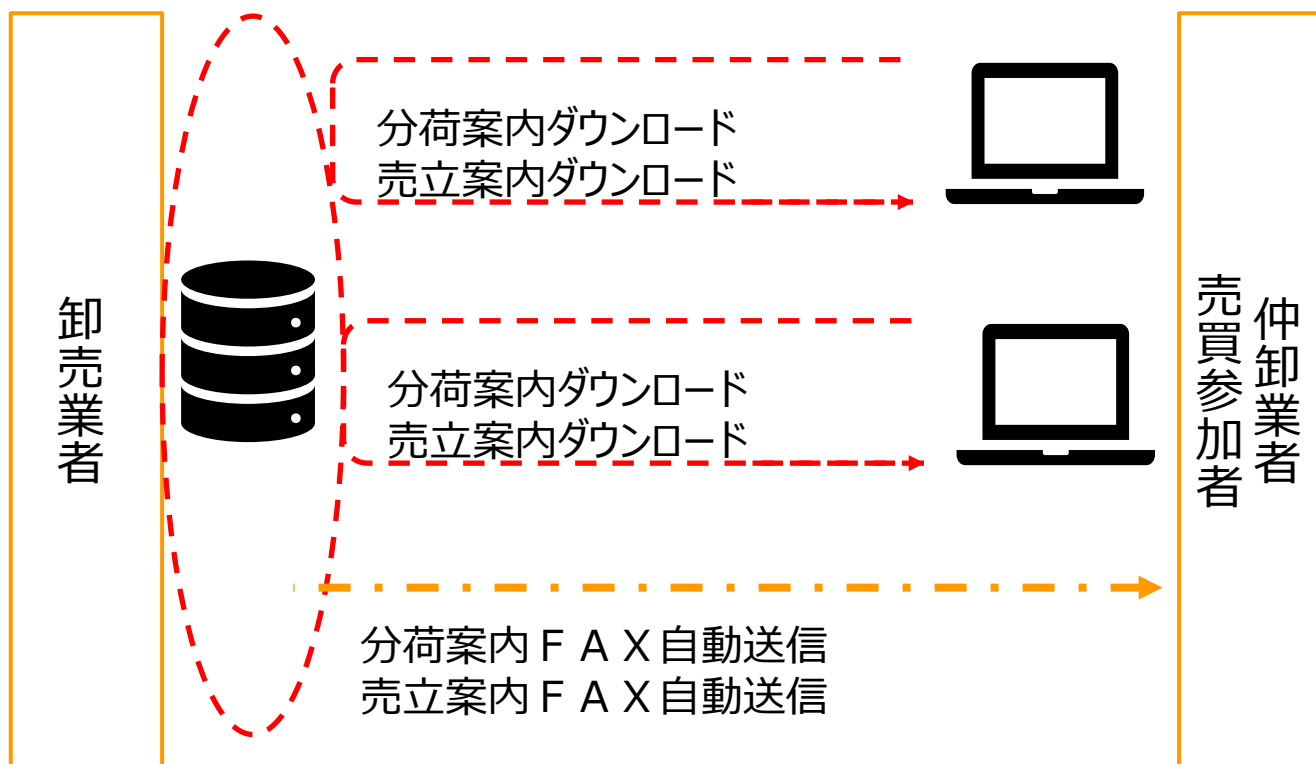
(参考) 卸売市場内の情報伝達ツール

【分荷数量案内】

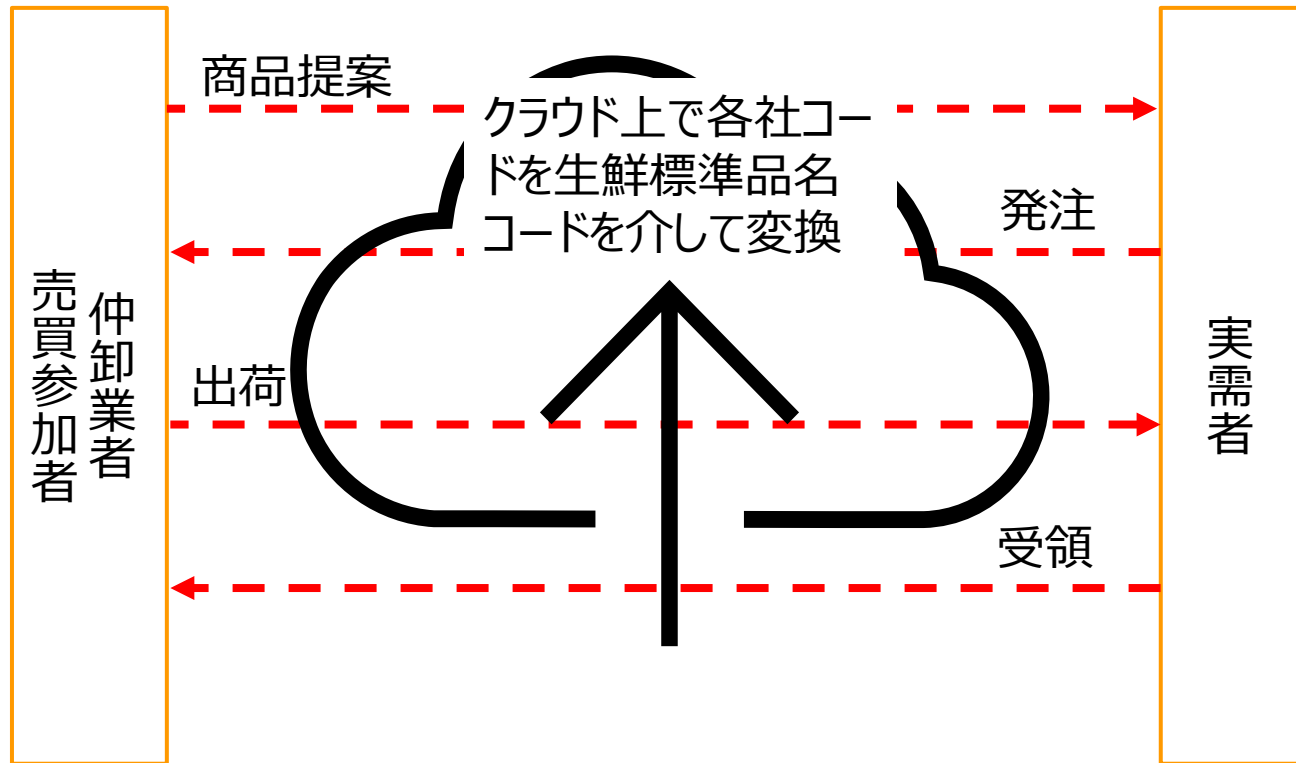
①置き場、②品名、③荷印、④原産地、④荷姿、⑤量目、⑥等階級、⑦箱数を1時間ごとに更新

【売立案内】

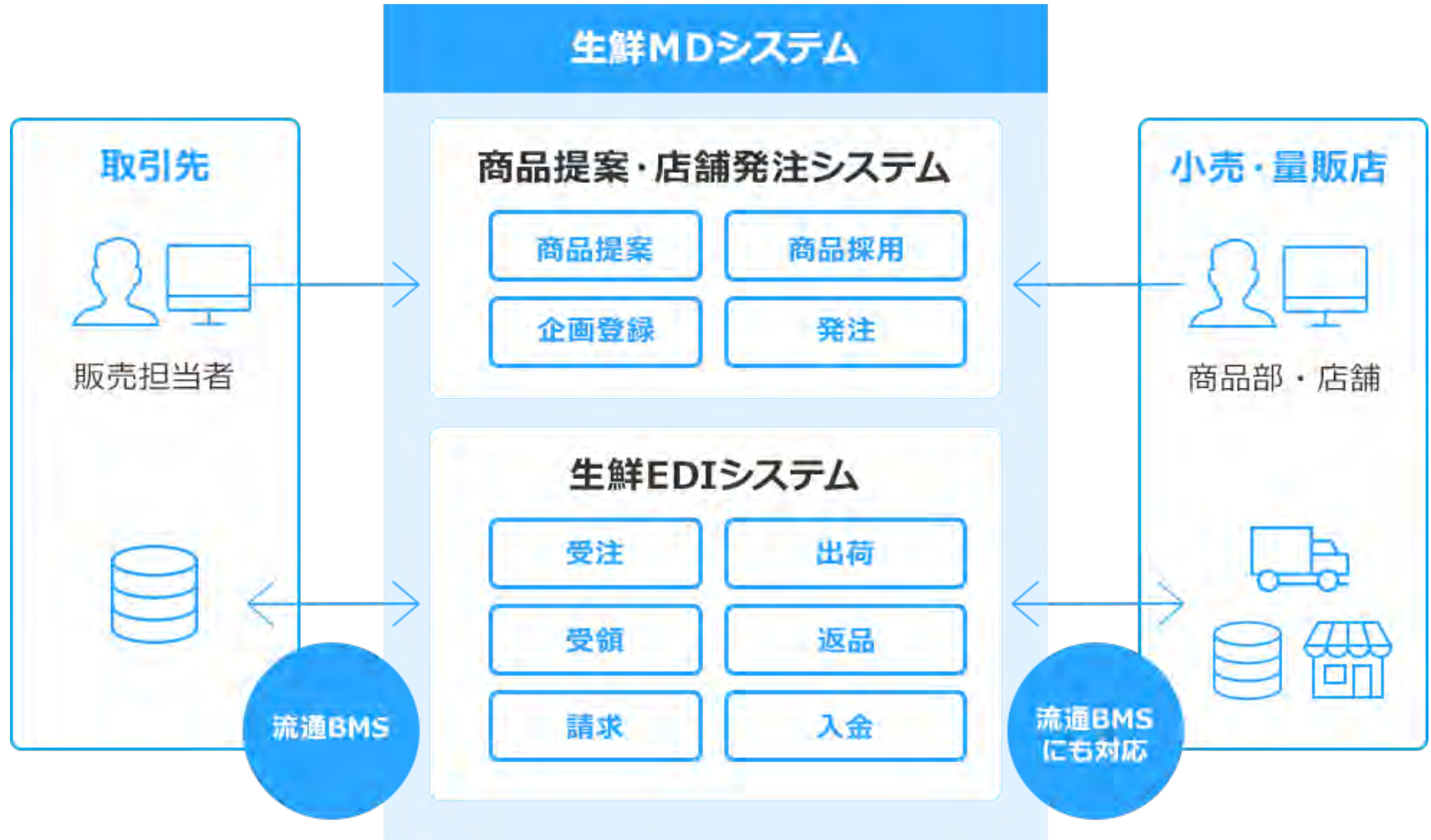
①荷印、②品名、③等階級、④数量、⑤単価、⑥金額を請求書に先だって案内



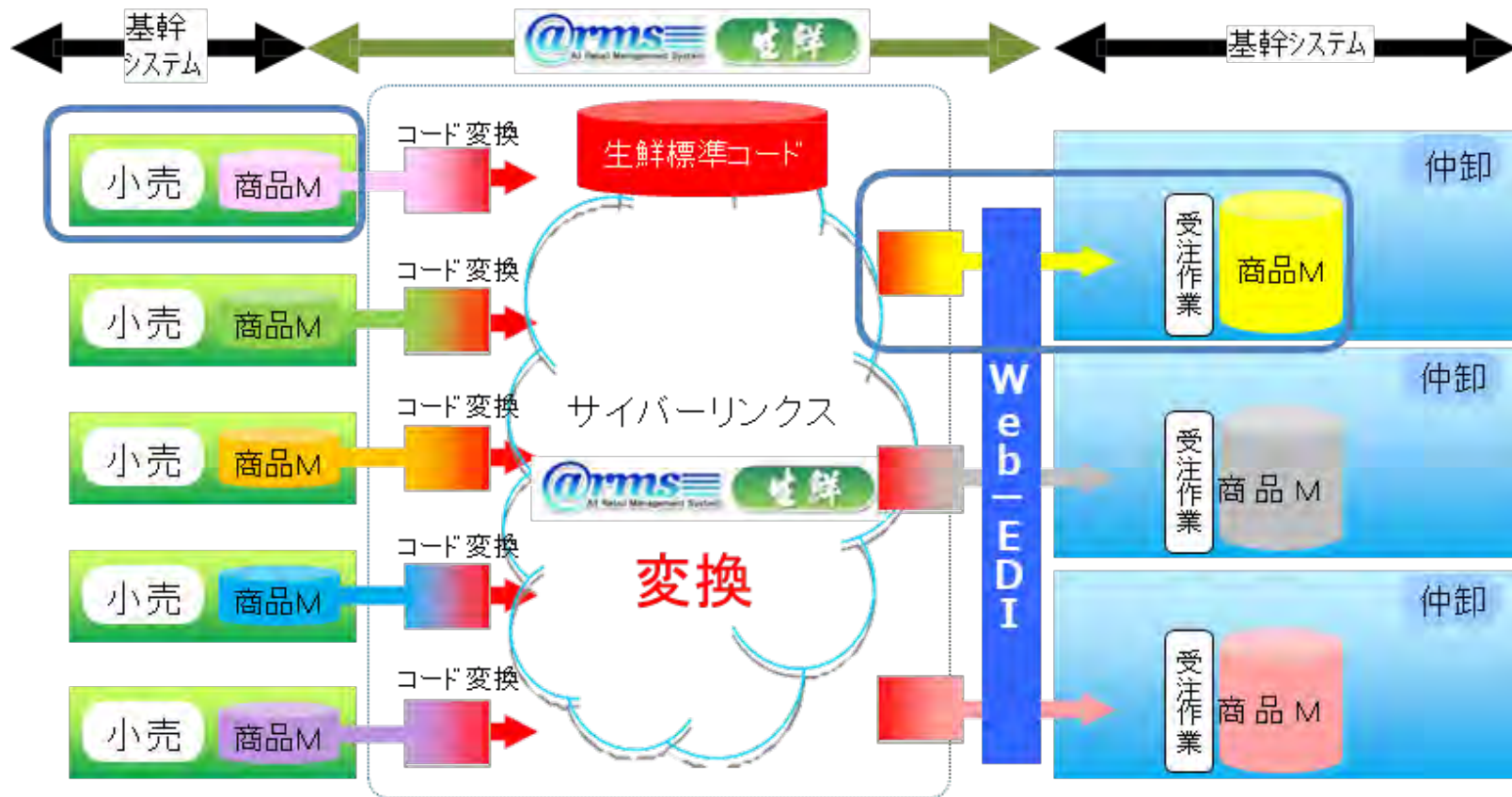
(参考) 仲卸業者と実需者との間の情報伝達ツールのイメージ



(参考) 仲卸業者と実需者との間の情報伝達ツール



(参考) 仲卸業者と実需者との間の情報伝達ツール



出典；株式会社サイバーリンクス提供資料より

(参考) 伝票電子化サービス

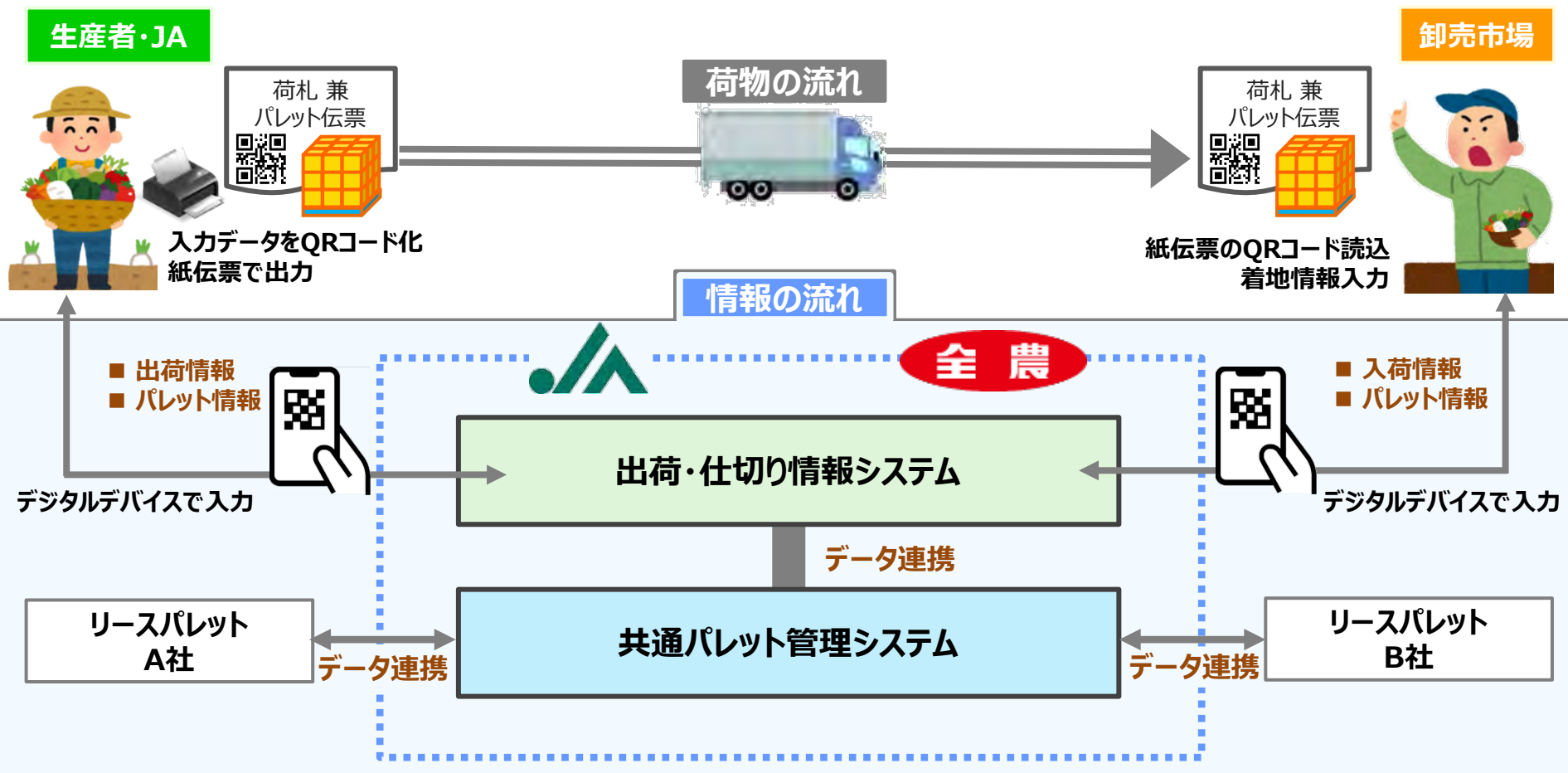


弊社は、製配販にまたがる下記活動の実証実験に参画して、本システムを開発しています。

- 国土交通省 荷主と運送事業者の協力による取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドライン
- 加工食品業界 伝票電子化プロジェクト (国土交通省モータルシフト等推進事業 補助金事業)
- デジタルロジスティクス推進協議会 納品伝票分科会

出典 ; ウイングアーク1st株式会社提供資料より

(参考) パレット情報管理



出所；令和3年度食品等流通持続化モデル総合対策事業（持続的サプライチェーン・モデル確立事業）
第1回パレットを活用したデータ連携システム開発検討会資料より抜粋

(参考) トラック予約システム

<目的>

大田市場内 荷下ろし待ち車列による渋滞緩和（東京都メリット）
情報の事前共有による置場の最適レイアウト（東京青果メリット）
産地ドライバーの計画的運行補助（運送業者メリット）

<システムの特徴>

分かりやすい操作性（レストラン予約と同じUI）
利用者側での登録のしやすさ（簡単）
予約者に課金されない料金体系
他業種のE P A R K加盟店も同じI Dで
利用可能
1対多に対応しやすい仕組み（登録が簡単）



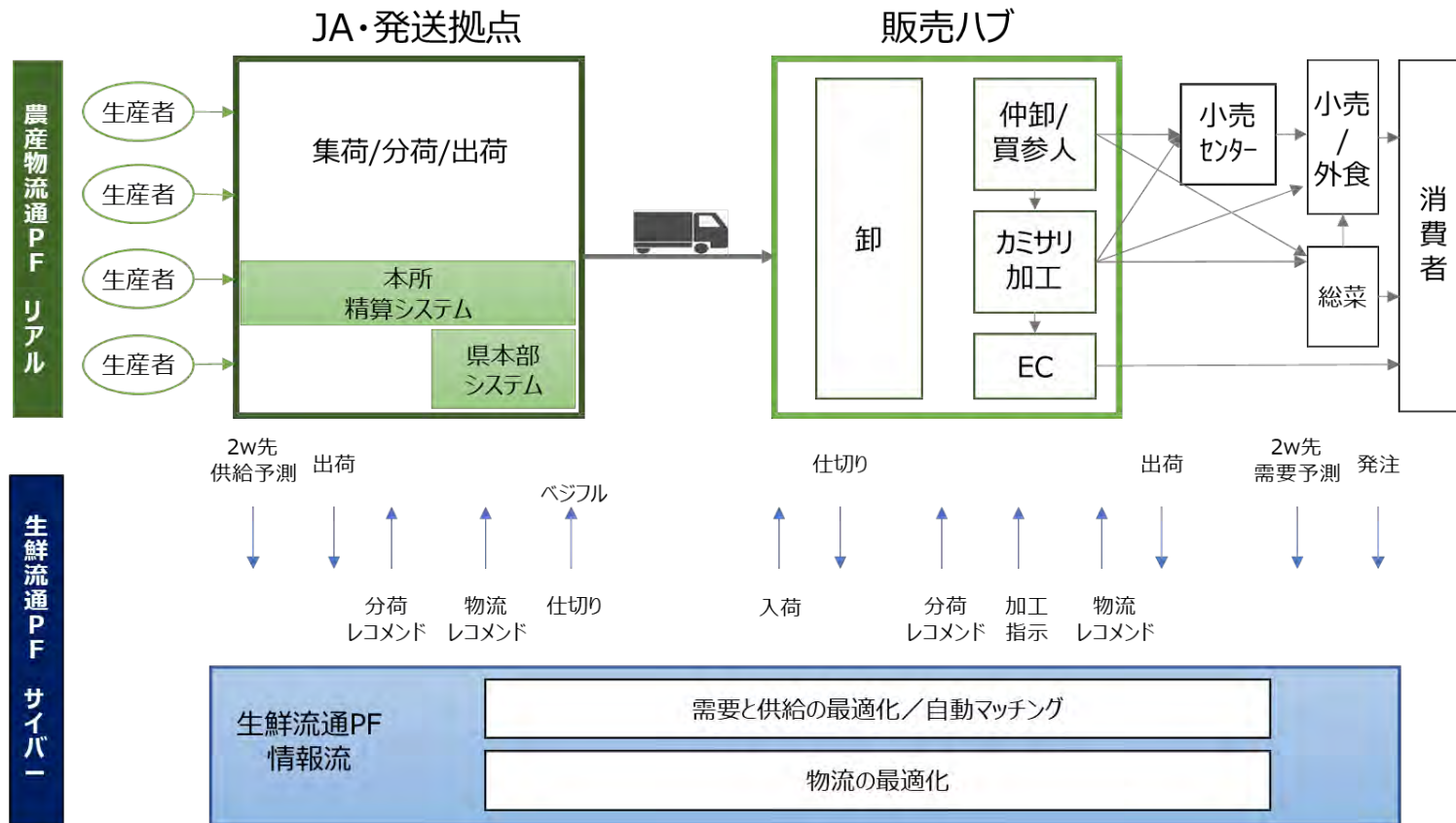
<実績値>

- ・登録者数： 5,033名（2021年9月末時点）
- ・予約数： 1日当りの平均予約数110台（2021年7月平均）10tトラック中心
⇒当日入荷量の50～60%程度（10tトラック満載として概算した値）
- ・リピート率： 11回以上利用した予約者は28%
- ・予約時間から1時間以内での荷下ろし案内率：果実96%、野菜87%

※ 横浜丸中青果、全農青果センターでも導入済み

(参考) 農産物流通プラットフォーム

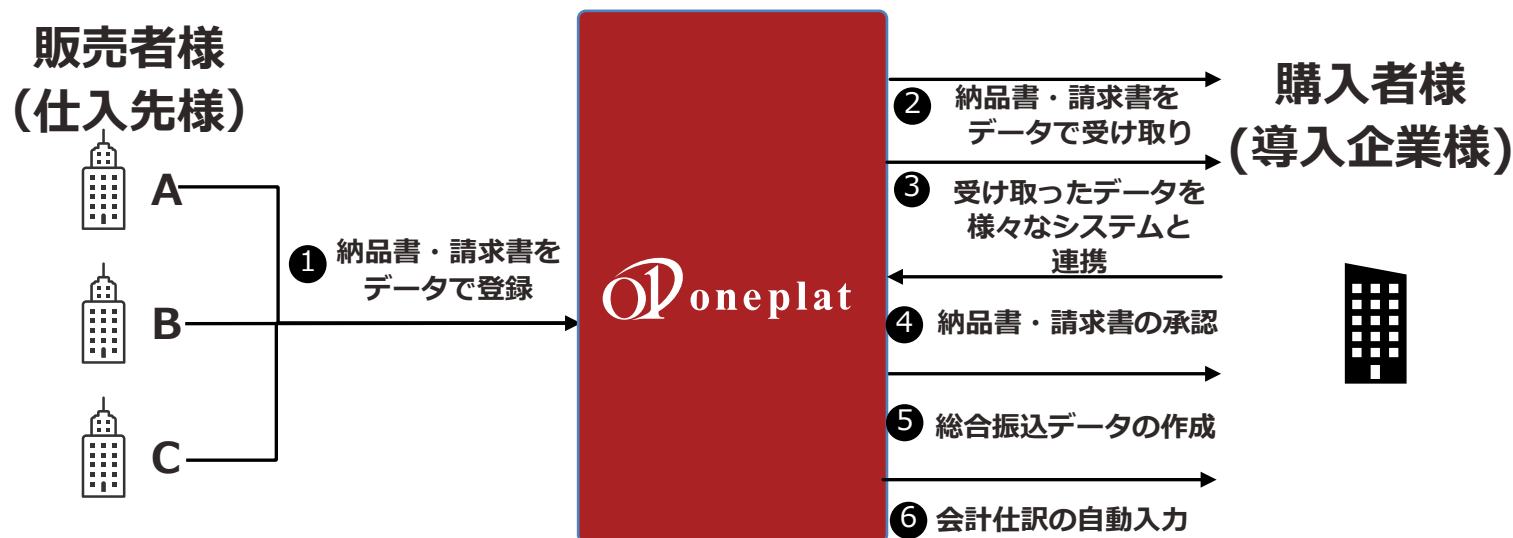
農産物流通プラットフォーム 全体像



Copyright© NTT Corporation & Toka Osaka Co.,Ltd. All Rights Reserved.

(参考) 決済プラットフォーム

「納品書・請求書の取りまとめ」「会計業務の簡素化」で
業務時間や業務コストの大幅削減



- 基幹システム等の自動連携
- 請求書自動作成
- インボイス制度対応

- 電子帳簿保存法対応
- ペーパレス化
- 会計仕訳の自動化
- 振込の自動化

Oneplat

5. コード・情報分科会において検討すべき事項

5-1. コード・情報分科会において検討すべき事項

Ⅲ. コード・情報

【構成員】

(出荷団体) 全農、日園連、ホクレン、 (卸売団体) 全中青協、全青協
(物流事業者) 全日本トラック協会、(情報) 食流機構、流通経済研究所

1. 生鮮標準コード及び生鮮標準コード体系の活用状況と課題整理
2. 各プレイヤーの用いているコード
3. 送り状、販売原票等の帳票類の現状把握と課題整理

※ 送り状や送り状の項目の統一を優先。

5. コード・情報分科会において検討すべき事項

5-2. 青果物流通標準化ガイドライン骨子の項目検討案

	項目	加工食品	青果物
1	納品伝票の標準化	- 標準納品伝票は、A4版上下の1枚伝票 - 賞味期限やQRコード等を記載することにより、検品の負荷の軽減 - 標準納品伝票（案）	- 標準化の対象は ① 送り状 ② 売買仕切書 ③ 売立案内書（分荷表） ④ 請求書 でよい。 - 用紙や標準帳票様式の標準化ではなく、項目やコード明記の標準化を目指すべきか。 - 標準とすべき項目については今後調査。 - 帳票の電子化や帳票にQRコード等を記載することにより、検品の負荷の軽減。

5. コード・情報分科会において検討すべき事項

5-2. 青果物流通標準化ガイドライン骨子の項目検討案

	項目	加工食品	青果物
2	コード体系・物流用語の標準化	業界内だけの独自のコード体系・物流用語の標準フォーマットを決定するのではなく、SIP「スマート物流サービス」にて決定された標準化項目に準拠していくことが望ましい。	- 青果物の標準品名コードの使用を青果物流通全体の標準とすべきか。 - ベジフルネットで使用する県連コード、市場コード、農協コードの使用を青果物流通全体の標準とすべきか。 また、GS1事業者コードに登録を検討してはどうか。 - ペーパーレス化や標準コードを用いるシステム、クラウドサービスを使用することが望ましいことを明記してはどうか。 - 定義を整理すべき物流用語について今後調査。